

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課長	荻田 信幸
健福-23	高齢者活動運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	高齢者の社会参加や生きがいを支援し、福祉の向上を図るため。
効果	高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を推進する。

2 令和4年(2022年)度実施した事業の概要

- ・長寿のお祝いとして88歳及び100歳以上の高齢者に対し祝品を、90歳の高齢者に対しメッセージカードを贈った。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいを支援した。
- ・運転免許証を自主返納した高齢者又は失効した高齢者に対し、交通費の一部を負担した。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	敬老祝事業	敬老祝品の贈呈	-	- / -	-	-	-
02	外国籍高齢者福祉給付金事業	外国籍高齢者福祉給付金(実績なし)	-	0 / 120	120	120	-
03	高齢者入浴助成事業	高齢者入浴助成事業委託	入浴助成券利用枚数(枚)	48,864 / 47,000	47,000	47,000	103.97%
04	高齢者生きがいをづくり事業	デイ銭湯事業委託、いきいきサークル事業委託	デイ銭湯参加者数(人)	516 / 915	900	900	56.40%
				3,690 / 4,163	3,653	3,653	
05	老人クラブ活動助成事業	運営費補助金	老人クラブ連合会の会員数(人)	2,376 / 3,386	3,416	3,416	70.18%
				3,173 / 3,594	3,474	3,474	
06	運転免許証返納者支援事業	運転免許証返納者支援事業負担金	助成券申請者数(人)	1,337 / 1,600	1,600	1,600	83.57%
07	福寿優待サービス事業	福寿カードの発行	協賛店舗数(店舗)	35 / 45	50	50	77.78%
				27 / 100	1,611	1,611	
08	地域貢献送迎バスモデル事業		実施施設数(施設)	- / -	-	6	-
09				/		300	
10				/			
				国県支出金	1,140 / 1,665	1,534	
				財源内訳			
				地方債	/		
				その他特定財源	2,808 / 3,520	2,765	
				一般財源	15,971 / 15,879	18,268	
				事業費の合計(千円)	19,919 / 21,064	22,567	
				人件費(千円)		16,886	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	2.8	2.0	2.0		
会計年度任用職員	2.0	1.0	1.0	1.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	敬老祝事業	節目の年齢を迎える対象者の長寿を祝う目的で実施しており、指標の設定になじまないため。	高齢者の健康増進及び生きがいづくりにおいて、節目のお祝いを実施することが有効である。	寿命の延伸に伴い、対象者が増加傾向であるため、財源確保に課題がある。
02	外国籍高齢者福祉給付金事業	対象者に対する給付自体を目的としており、指標の設定になじまないため。	公的年金給付の要件を制度上満たせない外国籍の高齢者への給付金制度は、多様性のある福祉サービスにおいて必要である。	-
03	高齢者入浴助成事業	コロナ禍において下回っていた利用実績は回復傾向にあったが、銭湯数の減少による影響があった。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、入浴助成は一定の役割を果たしている。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段としてのニーズを適切に把握し、今後の実施方法等について検討していく必要がある。
04	高齢者生きがいづくり事業	新規の参加者を増やすことが各銭湯における課題となっている中、銭湯数の減少により実施回数が減った影響があった。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、デイ銭湯事業は一定の役割を果たしている。	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段としてのニーズを適切に把握し、今後の実施方法等について検討していく必要がある。利用者数の増加につなげるためにも、今後銭湯を多世代交流の新たな拠点として活用していく。
05	老人クラブ活動助成事業	会員の高齢化が進んでおり、新たな会員の獲得が課題となっている。	老人クラブの安定した運営に寄与することで、高齢者の社会参加を支援できている。	会員数が減少する中、会員の確保と活動の充実に向けた支援を行う必要がある。事務局職員及び事務室の確保のための支援の検討が必要である。
06	運転免許証返納者支援事業	運転免許証の自主返納者のうち、約7割の方が申請しており、外出支援策として一定の成果を上げている。自主返納者数が減少傾向にあるため、見込んでいた申請者数には達しなかった。	免許証を返納した高齢者の外出支援の一環として、必要なサービスを提供できている。	外出支援策としての公平性及び有効性を検証しながら、事業の継続実施について検討する必要がある。
07	福寿優待サービス事業	コロナ禍において、思うように協賛店舗数拡大に向けた働きかけができなかった。	高齢者が外出するための動機付けになり、多様性のある福祉サービスの提供につながっている。	協賛店舗数の伸び悩みが課題である。引き続き事業の周知に努めるとともに、新たに外出を促進するマップを作成することでサービスの拡充を図っていく。
08	地域貢献送迎バスモデル事業	実施施設数の増加が移動支援の充実につながるため指標を設定した。	外出しにくい地域に住む高齢者の移動支援を行うことで、高齢者福祉に寄与している。	ドライバー不足で休止している施設もあり、事業の拡充に向けて更なる協力体制を確保していく。
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
		△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 高齢者の社会参加や生きがいがづくりを支援することは健康維持や介護予防に有効であり、今後も継続して事業を実施する必要がある。高齢者生きがいがづくり事業のうち、いきいきサークル事業については他の事業に統合する一方、運転免許証返納者に対する支援事業などの外出支援に係る事業は拡充に向けて今後の在り方を検討するとともに、外出促進のための取組を新たに行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	入浴助成券利用枚数						単位	枚
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
入浴助成事業に対するニーズの把握と事業の推進状況の確認ができるため。	目標値		65,000	47,000	47,000			
	実績値	61,512	54,614	46,864				
	達成率		84.1%	99.8%				

指標(単位)	デイ銭湯参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
デイ銭湯事業に対するニーズの把握と事業の推進状況の確認ができるため。	目標値		1,080	915	900			
	実績値	558	612	516				
	達成率		56.7%	56.4%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	高齢者入浴助成事業実施状況						
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	茅ヶ崎市			
他市実績	72枚(自己負担220円)	一人暮らし登録高齢者のみ	72枚(自己負担150円)	高齢者優待サービス事業の一環			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、公衆浴場入浴料の助成は有効であり、自己負担額も適正であると考えられるが、他市では複数あるサービスのひとつとして実施しているところもあることから、本事業の実施方法等について今後検討していく必要がある。
----------------------	---